



2023年12月14日

各位

会社名 株式会社 アシロ
代表者名 代表取締役社長 中山 博登
(コード番号：7378 東証グロース)
問合せ先 取締役CFO 川村 悟士
ir@asiro.co.jp

減損損失の計上及び個別決算における特別損失の計上 並びに連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年10月期において、下記の通りのれんの減損損失及び個別決算における特別損失を計上し、2023年6月14日に公表した通期連結業績予想について差異が生じることとなったため、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年10月期連結業績予想と実績の差異 (2022年11月1日～2023年10月31日)

| | 売上収益 | 営業利益 | 税引前利益 | 当期利益 | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 基本的1株 当たり当期利益 |
|--------------------------|-------|-------|-------|------|----------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 3,167 | 80 | 75 | 7 | 33 | 4.29 |
| 実績(B) | 3,198 | 53 | 43 | △38 | △12 | △1.69 |
| 増減額(B-A) | 51 | △27 | △32 | △46 | △45 | — |
| 増減率(%) | 1.6 | △33.3 | △42.5 | — | — | — |
| (ご参考)前期実績 (2022年10月期) | 2,202 | 484 | 477 | 331 | 344 | 50.03 |

2. 差異の理由

売上収益につきましては、当社主要事業であるリーガルメディア事業や派生メディア事業が好調に推移した結果、前期比大幅な増収となり、2023年6月14日付「通期業績予想の上方修正に関するお知らせ」において上方修正を行った売上収益予想も上回って着地いたしました。

各段階利益につきましても、期初の予想を上回って推移していたものの、下記3に記載の通り減損損失を計上することとなり、当社はIFRSを採用していることから減損損失はその他の費用として営業損益に含まれ、営業利益以下の各段階利益においては前回予想を下回ることとなりました。

3. 減損損失の内容

当社の連結子会社である株式会社アシロ少額短期保険は、保有契約件数に応じて売上収益が増加するストック型の収益モデルとなります。保有契約件数の積み上げに向けて、当社が強みとしているウェブマーケティングを活用した販売活動を推進しておりますが、当初の計画よりも進捗が鈍い状況を踏まえて監査法人と協議を行った結果、連結子会社化時に計上した保険事業に係るのれんの一部である98百万円を減損損失として計上することといたしました。なお、保険事業は2023年5月に新たな事業責任者を招聘し、ウェブマーケティング経由での販売に加えて、代理店経由の販売を強化すべく代理店開拓を推進するなど、保有契約件数の積み上げ並びに早期の収益化に向けて取り組んでおります。

HR事業においては、新規事業としてダイレクトリクルーティングサービスのシステムを開発しておりましたが、同サービスを本格稼働させていくためには相当な投資やリソースが必要となる見込みであり、人材紹介サービス並びに人材派遣サービスに経営資源を集中することが現状では最適と判断したことから、ダイレクトリクルーティングサービスについては事業展開を停止させることといたしました。これにより、本サービスに係るシステム開発等にあたるソフトウェアの有形固定資産16百万円を減損損失として計上することといたしました。

4. 個別決算における特別損失の内容

上記3.に記載の株式会社アシロ少額短期保険に関して、個別決算にて財政状態および経営成績を保守的に再評価した結果、関係会社株式評価損240百万円を、当社の個別財務諸表における特別損失として計上いたしました。なお、上記の関係会社株式評価損は、連結決算においては相殺消去されるため、2023年10月期（2022年11月1日～2023年10月31日）の当社の連結業績に与える影響はございません。

以 上